

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

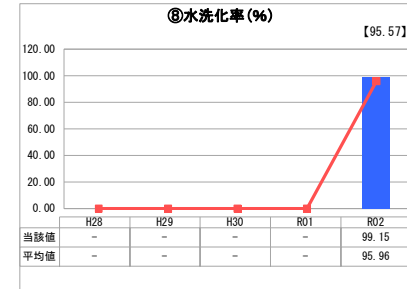
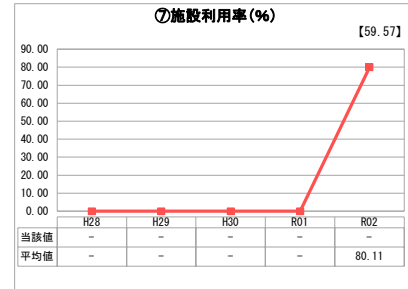
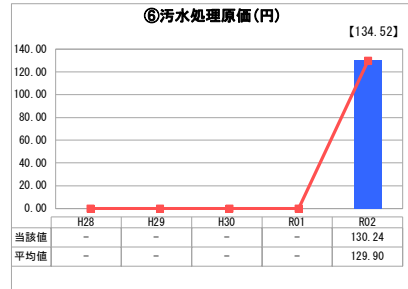
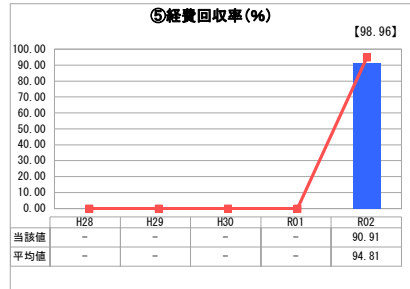
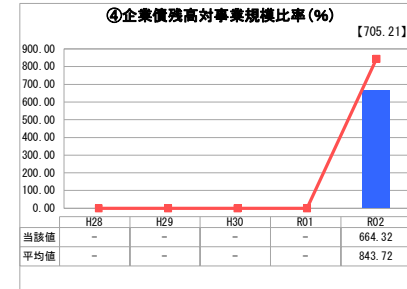
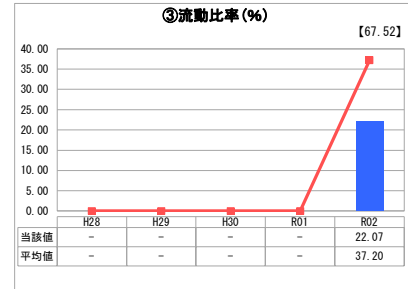
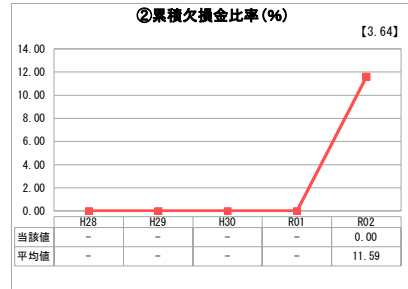
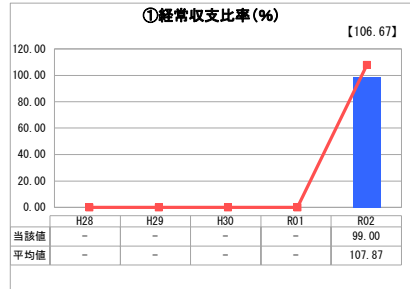
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	46.84	99.99	80.79	2,266

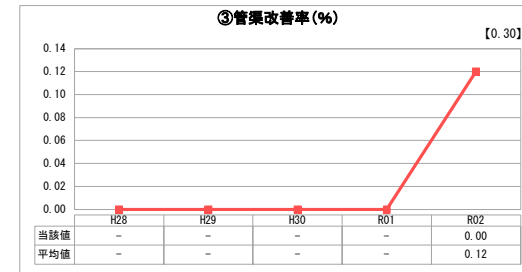
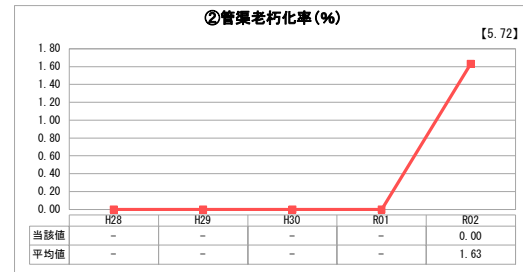
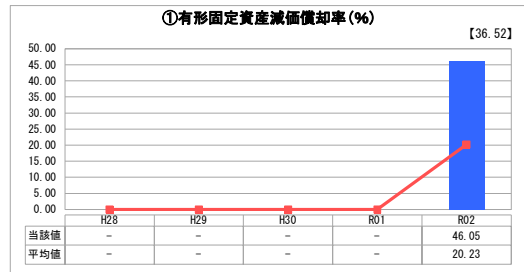
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
57,316	7.72	7,424.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
57,257	6.52	8,781.75

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 収益的収支比率  
経常収支比率はほぼ100%に近い値ですが、使用料収入の不足分を一般会計繰入金によって賄っています。

③ 現金等の流動資産の保有が少ないため、流動比率は類似団体を下回っています。

④ 企業債残高対事業規模比率  
本市の汚水整備事業が概ね完了していることから、工事費の財源である企業債の新規借入を行うことが少ないため、減少していく見込みです。

⑤ 経費回収率  
汚水処理費の一部を一般会計繰入金によって賄っているため、100%を下回っています。適正な経費回収のため、経営管理の向上が必要です。

⑥ 汚水処理原価  
汚水資本費が高くなる分立式下水道を採用しています。本年度は類似団体とほぼ同水準となっています。

⑧ 水洗化率  
早くから水洗化を進め、汚水事業整備が平成12年に完了したことから、ほぼ100%となっています。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
概ね資産全体の半分程度償却が進んでいる状況です。

② 管渠老朽化率  
昭和49年から整備に着手したため、耐用年数50年に達している老朽管はありません。現在、予防保全型の維持管理を行い、下水道管渠の長寿命化に取り組んでいます。

## 全体総括

支出の大部分を占める企業債償還金が減少傾向にあります。使用料収入では費用を賄いきれず、一般会計からの繰入金に依存する状況は今後も続く見込みです。

本市の下水道事業は、令和2年度から地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行しました。今後も正確な経営状況の把握に努め、安定的な下水道事業運営を行うための適切な経営管理を行います。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。